

令和6年度 第1回森町総合教育会議 議事録

1 日 時 令和6年7月2日(火) 午後1時30分～午後3時00分

2 場 所 森町文化会館 第1研修室

3 出席者 森町長 太田 康雄
森町教育委員会
教育長 野口 和英
委 員 村松 昌吾
委 員 早馬 保男
委 員 佐藤 佐和子
委 員 宮崎 智栄

(説明出席者)

学校教育課長	塩澤 由記弥
学校教育課長補佐	土屋 成弘
庶務係長	鈴木 真央
学校管理係長	高橋 弘毅
社会教育課長	三澤 由紀子
社会教育課長補佐	堀内 裕文
社会教育課長補佐	磯谷 博俊
健康こども課長	朝比奈 礼子
健康こども課長補佐	川島 直子
幼稚園保育園係長	米倉 雅俊

4 議 事 (1) 令和6年度 森町の教育について
(2) 公立幼稚園のあり方検討会について

5 傍聴人 0人

6 議事の概要

学校教育課長 開会

町長

本日は第1回総合教育会議にお集まりいただき御礼申し上げます。

梅雨の時期に入ったが、以前に比べると梅雨の形が違うと感じている。梅雨どきに降る雨の量は大体決まっているようで、それがしとしと長く降るか、どっと短く降るかの違いだそう。そのため、どっと一度に降るよりはしとしと長い時間で降ってもらった方が良いなという気がしている。先週の豪雨についても大河内で累積雨量が282ミリと、もう少し長く降っていたらまた大きな災害になっただろうと思う。それでも70件近い被害箇所が報告され、水の力、自

然の力は大きいと改めて実感した。何とか今年は災害のない一年になってもらいたいと願っている。

本日は、「令和6年度の森町の教育について」ということでそれぞれ報告をしていただく。令和6年度も第二四半期に入った。なかなか年度がスタートしてすぐにいろいろな事業が動き出さない中であるが、今年度予定している事業について報告をしていただく。次に「公立幼稚園のあり方検討会について」であるが、6月定例会でも幼稚園、あるいは幼児教育の今後についての質問がされている。このことは今年度の森町にとっても大きな課題となっているため、スムーズに進められるよう御協議いただきたい。また昨日の朝の同報無線で町民の皆様にお知らせをしたが、杭迫柏樹先生が紺綬褒章を受章された。これは、国や地方自治体、公益団体に多額の寄付をされた方に授与されるものである。杭迫先生は森町に対して数多くの作品や美術品を寄贈していただいたことから、県を通じて国に授与の申請をし、この度決定した。紺綬褒章というものは、章自体にランクはなく、副章として木杯が贈られ、寄付の総額に応じて木杯の大きさが違うという区分である。先生の場合は一番大きい木杯が贈られる。文化会館の廊下にも作品を何点か展示してあるが、受章されたことを町民の皆さんに広くお伝えをし、9月の書道フェスタの中で伝達式を行う予定でいる。名誉町民であられる杭迫先生を町民がこぞってお祝いできればいいと思っている。

それでは、本日の総合教育会議をよろしく願います。

教育長

本日は第1回森町総合教育会議にお集まりいただき、また教育委員の皆様におかれては、午前中の学校訪問に引き続いての出席に感謝申し上げます。おかげさまで幼稚園、小中学校の子供たちの様子は大変落ち着いており、安定した経営がされていることを御確認いただけたと思う。また子供たちの命に関わるような大きな事故もなく良かったなと思っている。社会教育に関連する業務については、コロナ禍以降のように活発に行われ順調に進んでいるところである。

本日は、幼稚園のあり方や地域部活動など様々な課題に対して御意見をいただければと思うのでよろしく願います。

学校教育課長

議事進行を町長に願います。

町長

議事(1)令和6年度森町の教育について、事務局から説明をお願いします。

健康こども課長

資料のとおり説明。

学校教育課長

資料のとおり説明。

社会教育課長

資料のとおり説明。

町長

飯田第2放課後児童クラブの設置及びそれに伴う施設改修について説明をお願いします。

健康こども課
幼稚園保育園係長

飯田放課後児童クラブについては、利用申込者が増えたことに伴い、第2放課後児童クラブを開所するための改修工事等が始まる場所である。現在の計画としては、利用希望児童が多いことから、夏休み期間中は飯田総合センターに20名程度利用できる臨時の児童クラブを開設し、その間に飯田小の改修工事を行い2学期から第2児童クラブとして開所できるよう進めている。また第2児童クラブの場所は、現在会議室として使用している1階の一番東側の教室を予定している。

学校教育課長 第2放課後児童クラブを新たに設置することにより、現在の会議室を別の場所に移す必要がある。学校で検討したところ、1階に設置するのが望ましいという結論であったため、現在の会議室の隣に新たに設置することを計画している。また、飯田小のこれまでの教室のレイアウトとして、1階に1・2年生、2階に3・4年生、3階に5・6年生となっている。1階に新たに会議室を設けることにより、2年生が2階へ、4年生が3階へと一つずつずれるような配置を取ることになるため、最終的にコンピュータールームを3階の一番西側に設置し、新しい会議室と併せて整備を行う予定でいる。この教室の移動に伴い、空調機器も新たに2教室設置することとなり、これにより飯田小の空調設置教室はほぼ100%に近い形となった。

町長 健康子ども課、学校教育課、社会教育課からの説明・報告について質問等あるか。

佐藤委員 会計年度任用職員からシダックス(株)へ業務委託を開始して、人材確保を含め良かった点や問題点等があったか。

学校教育課長 今回の包括業務委託の目的としては、民間の豊富な人材により働いている方の急な休暇にも対応できることで、より働きやすくなることを目指して進めている。ただ、今年度スタートしたばかりということもあり、委託会社としても十分に人材を確保できていないということと、森町の事業所がまだ整っておらず、思うような対応がなされていないというような声を聞いている。これについては、委託会社と町の関係する課で協議を進め、現場の意見をよく聞いてもらうよう申し入れをした。

教育長 補足として、図書館については大幅に人員が増え、司書の資格を持っている方が新たに2人採用される等メリットもある。

学校教育課長 町の会計年度任用職員であれば年休を1時間単位で取得できたものが、委託会社では1日単位でしか取得できないというようなルールの違いがあるため、今までの条件に少しでも近づけるよう話を進めている。

社会教育課 社会教育課では、図書館の窓口業務、町営グラウンドの管理、総合体育館の夜間管理やトレーニング室の管理を委託している。図書館に関しては、これまでには会計年度任用職員2人と正規職員2人で対応していたところ、現在は委託職員だけの6人体制で対応している。総合体育館のトレーニング室も1人増員され、これによりシフトが組みやすくまた休暇も取りやすくなっている。細かな部分では指示命令系統がうまくいっていないこともあるが、少しずつ改善されている。

佐藤委員 児童クラブも飯田小に増設されて、場所等は整っても夏休みだけの勤務等変則的であると人材を確保するのが難しいと思うが、委託会社と協議をしながら現場の意見も大切に進めてほしい。

町長 続いて議事(2)公立幼稚園のあり方検討会について、事務局から説明をお願いします。

健康子ども課長 資料のとおり説明。

健康子ども課 資料のとおり説明。

幼稚園保育園係長

町長 健康子ども課からの説明について質問等あるか。

村松委員 子供の推移を見ると、これは幼稚園だけの問題ではなく小中学校含め森町全体の問題である。様々なことに関わってくるため、ソフト面での方針も大事であるが、町としてどこか一つに統合するとしても場所はどうか、既存の建物も40年以上経過しているため、新しく用地を探すのかも同時に考えていかなないと間に合わないのではないかと。町としてハード面のビジョンを明確にしていくことが町政には大事なことだと思う。先を見据えた大きな決断が必要となるが、幼稚園の方針がきっかけとなり今後の森町の方向性が決まってくるのではと思っている。

宮崎委員 6月から町内の施設や学校、幼稚園を訪問し、皆さん綺麗に掃除しながら使用して下さっているが、築40年以上の建物を子供の命を守る場としてどうあるべきかを考えていく必要がある。さらには、支援が必要な子供たちも増えているという現状も組み込んで、幼児教育だけでなく、小学校中学校という長いスパンでもっと考えても良いのでは。プティ森町園ができたことにより待機児童が0になったということであれば、急がずに未来を見据えてみんなで案を出しながら子供のために考えてもらいたい。

早馬委員 地域に幼稚園が無くなると子供の声が聞こえなくなる、と閉園した際にそういう声が上がっていたことから、幼稚園を一つにするというのはなかなか難しい面があるかと思う。しかしながら、現状を考えると他の委員の皆さんもおっしゃったが、早めにビジョンを示さないと子供を持つ親御さんは前に進んでいけないのではないかと。森町に定住しよう、この地域に住もうという人が迷い、流出していくことがないよう、スピード感を持ってビジョンを示した方が良いと思う。

佐藤委員 待機児童が0で預かり保育の利用者が77.27%という数字が何を示しているのか。本当に幼稚園が良くて通っている方もいると思うが、本当は保育園に入りたかったが入れなくて幼稚園の預かり保育を利用している方もいると想像できる。今の幼稚園保育園を利用している親御さん達の思いというものを数字の上だけではなく考えていただきたい。確かに幼稚園ならではの良さや、支援が必要な子にとってはこの環境はすごく嬉しいだろうなと感じるところではあるため、そういう部分を活かしつつ未来に向けて考えていただきたい。

教育長 委員の皆さんがおっしゃったことは本当にその通りであると思っており、幼稚園だけでなくもっと総合的に考えなければならぬと思っている。親御さんにとって非常に魅力的な新しい施設というものもそうだが、何より子供にとって幼稚園は良かったと思えるような教育環境であることが一番大事である。もちろん統廃合は気になるころではあるが、魅力あるそして子供にとってプラスになる幼児教育を実現するためには何が必要かということは忘れてはいけないと感じている。

町長 幼児期の過ごし方は、教育の面や保育の面、さらには福祉の面も求められる。そういった幼児期の求められる姿と合わせてその後の義務教育機関の教育としての機能全体を考えていかなければならない。園児数が減少してきた幼稚園をどうするかという喫緊の課題もあれば、義務教育の小中学校の統廃合についても考えていかなければならない。その兼ね合いの中で、スピード感を持って町民の皆さんに安心していただけるようなプランを示していくこと、これは非

常に難しいが、多方面の調整をしながら進めていかなければならない大きな課題であるため、教育委員会の皆さんにも幼児教育や義務教育の点、それから子供の教育環境や子育て環境という面で今後も御意見をいただければと思う。今年度の公立幼稚園のあり方検討会については進めてまいりたいと思う。その都度、教育委員会にも報告をしながら御意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いする。

議事については、以上で終了となる。

学校教育課長 閉会